

公益財団法人宮城県国際化協会に対する経営評価委員会意見

項 目	意 見	対象
事業の見直しについて	<p>団体は、これまでの経緯から幅広い事業を実施しているが、現在の経営資源では、その全てを継続することは困難である。県民ニーズを踏まえ、県の多文化共生社会推進計画と整合を図りながら、抜本的な事業の見直しと積極的な経費節減に取り組むこと。</p>	団体
収入確保策について	<p>会員増の取組を継続するとともに、公益法人として実施可能な範囲で事業の有料化を検討すること。</p> <p>収支均衡を念頭に、安定的な収入確保策を検討すること。</p>	団体
団体に対する県の対応について	<p>団体の経営改善計画策定にあたっては、事業や人員体制の見直し、収入確保策等について、適宜適切な助言を行うこと。また、県が団体に対して求める役割に基づき、計画の実現についても支援すること。</p>	県